

No.	審議会	ページ	意見	対応案
22	第 2 回	P14 ほか	寝屋川市公文書規程の規定にのっとった文書の形式とすべきである。 (①を(1)に、片括弧「」) を使用しない。)	ご意見を踏まえ修正します。
23	第 2 回	P20	本文 4 行目の「33人」は誤りで「338人」が正しい。	ご指摘のとおり修正します。
24	第 2 回	P23	本文 3 行目から 7 行目について、大阪市からの分水についても触れるべきである。	<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり追記します。併せて、昭和30年代後半から昭和50年代前半までの水道の拡張事業について、適切な表現に改めます。</p> <p>【修正前】 本市は昭和35年頃までは、人口 5 万人程度の田園都市でしたが、高度経済成長期には、大阪都心部で勤務する人たちの居住地として人口急増期を迎えることとなりました。このため水道事業では昭和30年代後半から昭和50年代前半まで、<u>大阪府営水道からの受水</u>や淀川からの自己水源などを基に、<u>6 次</u>にわたる水道の拡張事業を重ねてきました。</p> <p>【修正後】 本市は昭和35年頃までは、人口 5 万人程度の田園都市でしたが、高度経済成長期には、大阪都心部で勤務する人たちの居住地として人口急増期を迎えることとなりました。このため水道事業では昭和30年代後半から昭和50年代前半まで、<u>大阪府営水道及び大阪市営水道からの受水</u>や淀川からの自己水源などを基に水道の拡張事業を重ねてきました。</p>
25	第 2 回	P33	「図2-29 相互連絡管の設置場所と管口径」について、①から⑬の付番は何の順番か。	付番に意味はないため、「①」から「⑬」の番号を削除します。
26	第 2 回	P49	本文中及び「表 3-1 水質基準改正の経過」の表内について、「基準値」「基準」が混在しており、整理が必要である。	本文 4 行目から 5 行目「水質基準値」（2 か所）を「水質基準」に、表3-1内の「基準値強化」（2 か所）を「基準強化」に修正します。
27	第 2 回	P50 P51	「表3-2 水質基準（健康に関連する項目）と本市の検査結果」及び、「表3-3 水質基準（水道水が有すべき性状に関連する項目）と本市の検査結果」の表見出し「最大値/基準値（%）」について「（%）」は不要である。文字が中央揃えされていない欄がある。空欄の箇所にも値を記入すべきである。「<」の表記は分かりにくいため、「未満」等とすべきである。	ご意見を踏まえ修正します。
28	第 2 回	P62	第 3 章で現状を把握し、第 4 章で課題を抽出する、という構成とするのであれば、第 4 章のタイトルは適切か。	<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正前】 第 4 章 将来の事業環境 第 1 節 将来の事業環境と課題 第 2 節 今後対処すべき課題</p> <p>【修正後】 第 4 章 将来の事業環境と課題 第 1 節 将来の事業環境 第 2 節 今後対処すべき課題</p>

No.	審議会	ページ	意見	対応案
29	第2回	P63	将来の推計値（一日最大配水量）について、具体的な値を示すのは適切でない。	一日最大配水量は、一日平均配水量の推計値及び負荷率90.58%（過去10年平均）により推計しています。（R32 一日平均配水量47,349㎥／負荷率90.58%＝一日最大配水量 52,273㎥）  なお、ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。  6行目 一日最大配水量 「52,273㎥/日」⇒「約52,300㎥/日」 7行目 最大稼働率 「約40.5%」⇒「約41%」 10行目 最大稼働率 「53.0%」⇒「約53%」
30	第2回	P64	断水率について、有効数字三桁となっているが、二桁とすべきではないか。	出典である「第5回南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会資料」に本市の想定断水率が公表されており、その値を記載しているものであり、表記は原案のとおりとし、出典を以下のとおり改めます。  【修正前】 出典：第5回南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会資料1（平成26年1月）  【修正後】 出典：第5回南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会（平成26年1月・大阪府）資料1に参考資料2を基に加筆
31	第2回	P67 P68 P80	「安全」「強靱」「持続」の記載順がまちまちである。	「強靱」「安全」「持続」の順に統一します。
32	第2回	P67 P69 P74	本文中に「表〇-〇のとおりです。」等とあり、当該表がページをめくった次ページにある場合があります、読みにくい。	策定後の公表は電子データ（PDFファイル）を予定していますが、見やすさを踏まえ調整します。
33	第2回	P80	表内の「管路口径、配水池容量の最適化」、「経年施設・経年管路の計画的な更新・耐震化」について、「、」と「・」の使い分けを整理すべきである。	「管路口径・配水池容量の最適化」 「経年施設・経年管路の計画的な更新、耐震化」 に改めます。
34	第2回	P81	基本理念「安全で信頼される水道の実現」について、既に実現していると思われるこの状態を目指すのか。例えば、時代に即した「災害に強い」というニュアンスや「強靱」などの言葉がある方がよいのではないか。理念の冒頭に「強靱・」と付ける、「実現」を「持続」に変えるなどしてはどうかと考える。	ご意見を踏まえ、以下のとおり提案します。  【修正前】 安全で信頼される水道の実現  【修正後】 安全で信頼されるねやがわ水道
35	第2回	P81	基本理念「安全で信頼される水道の実現」について、分かりやすくしてほしいと思う。	
36	第2回	P81	基本理念「安全で信頼される水道の実現」について、例えば、「安全で信頼されるねやがわの水道の実現」などでもよいのではないか。	
37	第2回	第4章	課題として、耐震化の状況や管路の更新の状況についても記載した方がよいのではないか。	第4章第1節に、耐震化の状況についての記載を加えます。
38	第2回	全般	各ページが何章かわかるようにした方がいい、例えばページ上部に記載する等	分かるように記載する予定です。
39	第2回	全般	漏水調査の話の踏まえ、挿絵を入れて示すなどしてもよいのではないか。	ご意見を踏まえ、挿絵や写真の追加を検討します。